



市民病院

# ハナちゃん通信

問 市民病院管理課  
☎(48)5050

## 9月は「がん<sup>せいあつ</sup>征圧月間」です

### がん検診 あなたと家族の未来の ために

がんの早期発見や早期治療、生活習慣の改善により、がん撲滅を目指している日本対がん協会は、昭和35年から毎年9月を「がん征圧月間」と定め、がんとその予防について正しい知識の普及と早期発見・早期治療のために取り組みを行っています。

市民病院でも、がん征圧月間の関連行事として、毎年9月にイベントを実施しています。昨年度は「知ることはきっと安心につながります」をテーマに身体測定や骨密度測定、医師による公開講座、ウィッグの紹介、がんとの付き合い方について一緒に考えるコーナーなどを行いました。

今年度は、9月11日(水)9時～12時に開催します。主な内容として、医師による「がん治療との関わり方を考える」をテーマにした公開講座や医療相談、乳がんの触診モデルを用いた乳がんの自己チェック方法の紹介、薬剤師による薬の相談、介護についての相談会、健康チェックコーナーなどを予定しています。

予約や参加費は不要ですので、たくさんのご参加をお待ちしています。



## 碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史  
資料調査室  
☎(41)4566

### No.63 鷲塚城主水野忠重(6)

1580年、信長により御家断絶となっていた水野家は、水野忠重が刈谷城主となったことで再興されました。『神有郷土記』には、忠重らが去った鷲塚城は1590年まで徳川家康配下の代官が入り支配したと書かれています。この年、ほぼ天下を手に入れた豊臣秀吉は家康に関東への国替えを命じたのです。これにより鷲塚城は廃城となりました。

1598年に秀吉が亡くなると豊臣政権は、家康派（東軍）、石田三成派（西軍）へと分裂がはじまりました。この頃、鷲塚の片山家に嫁いだ忠重の姉・お亀の子ども<sup>のぶとも</sup>は、叔父である刈谷城主水野忠重に仕えていました。忠重は、いよいよ三成派（西軍）との大戦は避けられないと考えていたようです。『片山家覚書』には、関ヶ原合戦の2か月前、忠重に招かれた<sup>おおいくさ</sup>遵智は「この刀で高名をあげるように」と刀を頂いたことが書かれています。1600年の7月19日、忠重の身に大変なことが起こりました。知立宿での

酒席で加賀野井重望<sup>かがのいしげもち</sup>に暗殺されてしまったのです。

忠重暗殺の知らせは、上杉討伐に向かっていた家康に伝えられると、軍中にいる長男勝成を後継者と決め刈谷城へ戻しています。その後、猛将と恐れられた勝成は、関ヶ原合戦、大坂の陣を経て、西国大名の押さえとして備後福山10万石の藩主となっています。晩年の勝成は、福山を発展させた名君として領民から慕われています。

忠重とともに鷲塚へ来た水野太郎作清久とその子孫は、徳川御三家でもある紀州藩の家老として、代々紀州藩に仕えました。

鷲塚の片山家は太郎作清久の弟にあたる道智<sup>みちとも</sup>が養子として入りました。この家は武家とはならず、代々鷲塚村庄屋をつとめ明治を迎えています。



△片山家守護神 木造三面六臂大黒天立像（市指定文化財 鷲塚遍照院蔵）